

平成26年3月7日
 県民生活・環境部
 広域支援対策課

東日本大震災にともない、本県に避難されている世帯を対象とした今後の生活拠点に関する意向などの調査結果をまとめました。

調査の概要等は以下のとおり。

県は本結果も踏まえ、借上げ仮設住宅の提供、母子避難者の移動支援及び心のケアなど、避難生活の長期化に対応した支援に引き続き取り組んでまいります。

1 調査の概要

- (1) 調査目的 避難生活の状況を把握するとともに、今後の支援活動に生かすため
- (2) 調査期間 平成25年12月12日～平成26年2月28日
- (3) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (4) 調査対象者 本県に避難している世帯
- (5) 回答数 1,353世帯（回答率75.5%）

2 調査結果のポイント

（参考）過去の調査結果

		H24	H23
(1) 今後の生活拠点について			
・ 避難元に戻って生活する	38% (513世帯)	45%	38%
・ このまま新潟県に定住する	23% (305世帯)	17%	11%
・ 生活拠点をどうするか未定	36% (491世帯)	35%	48%
(2) 困りごと、不安なことについて（自由記述）			
・ 生活費の負担	5% (64世帯)	6%	
・ 先行き不透明	3% (37世帯)	4%	
・ 健康	3% (36世帯)	2%	
(3) 行政への意見・要望について（自由記述）			
・ 借上げ住宅の期間延長	14% (186世帯)	13%	
・ 高速道路の無料化	4% (60世帯)	8%	
・ 就職支援・斡旋	4% (52世帯)	3%	

※ 設問構成や尋ね方などが異なるため過去の調査結果との単純比較は困難

「避難生活の状況に関する調査」結果について

平成26年3月7日
県民生活・環境部
広域支援対策課

1 調査の概要

(1) 調査目的

東日本大震災の発生により、平成25年12月時点において福島県民を中心に約5千人が本県での避難生活を継続されていることから、避難生活の状況を把握するとともに、今後の本県における支援内容や被災県と本県が連携した支援内容の検討に資する。

(2) 調査期間

平成25年12月12日～平成26年2月28日

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査(悉皆調査)

(4) 調査対象者

本県に避難している世帯

(5) 回答数

(単位：世帯)

避難元県名(区域)		対象世帯数(割合%)	回答世帯数(割合%)	回答率
福島県	警戒等区域内	883 (49.3%)	652 (48.2%)	73.8%
	警戒等区域外	865 (48.2%)	672 (49.7%)	77.7%
宮城県、岩手県、茨城県		45 (2.5%)	29 (2.1%)	64.4%
合計		1,793 (100%)	1,353 (100%)	75.5%

注)「警戒等区域」は、市町村の全域又は一部が福島第一原子力発電所事故に伴う警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域に設定されている(又は設定されたことのある)市町村

(住宅等の形態別)

(単位：世帯)

種別	対象世帯数(割合%)	回答世帯数(割合%)	回答率
民間賃貸借上げ住宅	1,265 (70.6%)	1,098 (81.2%)	86.8%
公営住宅等	201 (11.2%)	110 (8.1%)	54.7%
親戚・知人宅等	327 (18.2%)	145 (10.7%)	44.3%
合計	1,793 (100%)	1,353 (100%)	75.5%

注)「親戚・知人宅等」に対する調査は本年度、新たに実施

2 調査結果の概要

- 今後の生活拠点については、「避難元の県に戻って生活する」と回答した世帯が38%、「このまま新潟県に定住する」が23%、「避難元、新潟県以外の都道府県に移住」が3%、「今後の生活拠点をどうするか未定」が36%であった。
- 「避難元に戻る」と回答した世帯の多くは戻る時期を「来年度以降」、「未定」

としており(計87%)、戻る判断として「放射線量・除染の状況」を挙げる世帯が最も多く53%となっており、警戒等区域内では続いて、「就職、職場の再開」、「住居の確保」、「他の住民の帰還、ライフライン復旧等」を挙げる世帯が多い。

- 困りごと、不安なことでは「生活費の負担」との回答が多いほか、先行き不透明なこと、健康や就職に関すること等が挙げられている。また、意見・要望では、「借上げ住宅の期間延長」、「高速道路の無料化」など経済的負担の軽減や「就職支援・斡旋」を望む回答が多く、特に警戒等区域外からの避難者の要望割合が高い。

3 各設問別回答

【設問1】

現時点での今後の生活拠点の考えについて、1から4のうち該当する番号ひとつを○で囲み、時期についてのお考えや理由を記入してください。

- 「避難元の県に戻って生活をする」と回答した世帯は全体で38% (513世帯)、警戒等区域内では41% (267世帯)、区域外では35% (238世帯) となっているが、「戻る時期は未定」と回答した世帯は全体で68% (350世帯)、警戒等区域内では68% (183世帯)、区域外では68% (162世帯) と多い。

戻る条件としては、「放射線量、除染の状況」が最も多く、警戒等区域内では、「就職、職場の再開」、「住居の確保」「他の住民の帰還、ライフライン復旧等」を挙げる世帯が多い。

- 「このまま新潟県に定住する」と回答した世帯は全体で23% (305世帯)、警戒等区域内では20% (129世帯)、区域外では24% (160世帯) で、その理由として、生活の安定(慣れ、周囲の人間関係)、放射線量、就職等を挙げている。
- 「今後の生活拠点をどうするか未定」と回答した世帯は全体で36% (491世帯)、警戒等区域内では34% (225世帯)、区域外では39% (261世帯) で、未定の理由としては、「放射線量・除染の状況」、「就職、職場の再開」、「先行き不透明」、「家族内で結論が出ない」などとしている。

(単位：世帯)

項 目	福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=29	計 n=1,353
	区域内 n=653	区域外 n=671		
1 避難元の県に戻って生活する	267(41%)	238(35%)	8(28%)	513(38%)
2 このまま新潟県に定住する	129(20%)	160(24%)	16(55%)	305(23%)
3 避難元の県及び新潟県以外の都道府県に移り住みたい	32(5%)	12(2%)		44(3%)
4 今後の生活拠点をどうするか未定である	225(34%)	261(39%)	5(17%)	491(36%)

「避難元の県に戻って生活する」と回答した世帯の「戻る時期」について

(単位：世帯)

項 目		福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=8	計 n=513
		区域内 n=267	区域外 n=238		
戻る時期 について	子どもの卒園、卒業まで	29(11%)	38(16%)	1(12%)	68(13%)
	来年度以降	55(21%)	38(16%)	2(25%)	95(19%)
	未定	183(68%)	162(68%)	5(63%)	350(68%)

注)調査票においては、「今年度中」の選択肢が含まれているが、当該選択の場合、本調査への回答そのものを不要としている。

「来年度以降」、「未定」と回答した世帯の「どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるか」について (自由記述)

(単位：世帯)

類 型	福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=7	計 n=445
	区域内 n=238	区域外 n=200		
・放射線量、除染の状況	105(44%)	134(67%)	2(29%)	241(54%)
・就職、転勤、職場の再開	45(19%)	17(9%)	1(14%)	63(14%)
・地元での住居の確保(修理含む)	42(18%)	4(2%)	3(43%)	49(11%)
・他の住民の帰還、ライフライン復旧、各種施設再開	38(16%)	5(3%)	1(14%)	44(10%)
・行政(国・避難元自治体)の方針	13(5%)	4(2%)		17(4%)
・先行きの見通しが立つ	7(3%)	5(3%)		12(3%)
・経済的理由	4(2%)	7(4%)		11(2%)
・入学・卒業の時期	1(0%)	8(4%)	1(14%)	10(2%)
・その他	17(7%)	11(6%)	1(14%)	29(7%)
・未記入	25(11%)	30(15%)		55(12%)

「このまま新潟県に定住する」と回答した世帯の「定住する理由」について (自由記述)

(単位：世帯)

類 型	福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=16	計 n=305
	区域内 n=129	区域外 n=160		
・生活の安定(慣れ、周囲の人間関係)	62(48%)	79(49%)	12(75%)	153(50%)
・放射線量	30(23%)	63(39%)	1(6%)	94(31%)
・就職、転勤	52(40%)	39(24%)	1(6%)	92(30%)
・帰るところがない	3(2%)	4(3%)	1(6%)	8(3%)
・入学・卒業の時期まで	3(2%)	5(3%)		8(3%)
・その他	10(8%)	7(4%)	2(13%)	19(6%)
・未記入	3(2%)	4(3%)		7(2%)

「避難元の県及び新潟県以外の都道府県に移り住みたい」と回答した世帯の「移動する時期」について

(単位：世帯)

項 目		福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=0	計 n=44
		区域内 n=32	区域外 n=12		
移動する時期について	来年度以降	9 (28%)	2 (17%)		11 (25%)
	未定	23 (72%)	10 (83%)		33 (75%)

「今後の生活拠点をどうするか未定である」と回答した世帯の「未定の理由」について (自由記述)

(単位：世帯)

類 型	福 島 県		宮城県 茨城県 岩手県 n=5	計 n=491
	区域内 n=225	区域外 n=261		
・ 放射線量、除染の状況	61 (27%)	100 (38%)		161 (33%)
・ 就職、転勤、職場の再開	66 (29%)	54 (21%)	2 (40%)	122 (25%)
・ 先行き不透明	40 (18%)	52 (20%)		92 (19%)
・ 家族内で結論が出ていない	21 (9%)	33 (13%)		54 (11%)
・ 進学先未定	26 (12%)	24 (9%)		50 (10%)
・ 経済的理由	4 (2%)	43 (16%)		47 (10%)
・ 安定(慣れ、周囲の人間関係)	11 (5%)	17 (7%)		28 (6%)
・ 行政(国・避難元自治体)の方針	14 (6%)	1 (0%)		15 (3%)
・ 他の住民の帰還、ライフライン復旧、各種施設再開	15 (7%)			15 (3%)
・ 地元での住居の確保(修理含む)	5 (2%)	5 (2%)	1 (20%)	11 (2%)
・ 入学・卒業の時期	3 (1%)	6 (2%)		9 (2%)
・ その他	22 (10%)	10 (4%)	2 (40%)	34 (7%)
・ 未記入	14 (6%)	12 (5%)		26 (5%)

【設問2】

今後の避難生活に関して困っていること、不安なことや、ご意見・ご要望（特に、被災県及び新潟県内自治体に支援や相談等を求めるもの）がありましたら記入してください。（自由記述）

（単位：世帯）

類 型	福 島 県		宮城県 岩手県 茨城県 n=29	計 n=1,353
	区域内 n=652	区域外 n=672		
【困りごと、不安なこと】				
・ 生活費の負担が重い	17 (3%)	46 (7%)	1 (3%)	64 (5%)
・ 先行き不透明で将来不安	13 (2%)	24 (4%)		37 (3%)
・ 健康（病気を抱えている、放射能の影響）	12 (2%)	24 (4%)		36 (3%)
・ 希望する職が見つからない	12 (2%)	19 (3%)	2 (7%)	33 (2%)
・ 余裕がない	6 (1%)	22 (3%)		28 (2%)
・ 子育て・学校（いじめ、進路、不登校）	8 (1%)	17 (3%)		25 (2%)
・ 避難先での暮らし 環境変化、人間関係、冬の生活	10 (2%)	13 (2%)	2 (7%)	25 (2%)
・ 賠償関係（国・東電の対応不満、請求手続きができない）	11 (2%)	11 (2%)		22 (2%)
・ 家族離ればなれの生活 孤立、頼れる人がいない	8 (1%)	12 (2%)		20 (1%)
・ 避難元の人々との関係	4 (1%)	9 (1%)	1 (3%)	14 (1%)
【行政への意見・要望等】				
・ 借上げ住宅の期間延長	40 (6%)	144 (21%)	2 (7%)	186 (14%)
・ 高速道路の無料化（ガソリン代補助含む）	16 (2%)	44 (7%)		60 (4%)
・ 就職支援・斡旋	13 (2%)	39 (6%)		52 (4%)
・ 借上げ住宅の借り換え	8 (1%)	30 (4%)		38 (3%)
・ 教育費助成	1 (0%)	16 (2%)		17 (1%)
・ 情報提供（支援情報、避難元の情報提供）	7 (1%)	10 (1%)		17 (1%)
・ 医療費補助	3 (0%)	12 (2%)		15 (1%)
・ 長期的展望の提示、支援・復興施策のさらなる推進	7 (1%)	8 (1%)		15 (1%)
・ 除染の早期完了、見通しの提示	7 (1%)	7 (1%)		14 (1%)
・ マイカー・バス制度の見直し	2 (0%)	10 (1%)		12 (1%)
・ 子ども一時預かりなどのサポート	3 (0%)	8 (1%)		11 (1%)
・ 受診手続き・医療費還付手続きの簡素化	2 (0%)	7 (1%)		9 (1%)
・ その他	69 (11%)	51 (8%)	3 (10%)	123 (9%)
・ 特になし（避難者支援の感謝含む）、未記入	429 (66%)	290 (43%)	18 (62%)	737 (54%)

「避難生活の状況に関する調査」について

新潟県では、今後も引き続き、皆様の支援を行っていくにあたり、現在の皆様の避難生活の状況を把握したいと考えております。

本調査は、今後の支援（住宅借上げ制度の期間延長など各種制度）の検討や、被災県と新潟県が連携し支援を行う上で大切な調査となりますので、代表者の方は下記の設問にご回答ください。

(個人情報の取扱いについて)
回答いただいた個人情報については、今後の避難者支援の検討にのみ使用し、それ以外の目的には一切使用しません。

■設問1 現時点での今後の生活拠点の考えについて、1から4のうち該当する番号ひとつを○で囲み、時期についてのお考えや理由を記入してください。

1	避難元の県に戻って生活する	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">戻る時期について (右の該当する番号ひとつに○)</td> <td style="width: 70%;"> <table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 子どもの卒園、卒業まで</td></tr> <tr><td>(3) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(4) 未定</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td style="width: 40%;">(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	戻る時期について (右の該当する番号ひとつに○)	<table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 子どもの卒園、卒業まで</td></tr> <tr><td>(3) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(4) 未定</td></tr> </table>	(1) 今年度中	(2) 子どもの卒園、卒業まで	(3) 来年度以降	(4) 未定		<table border="1"> <tr> <td style="width: 40%;">(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> </table>	(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。	
戻る時期について (右の該当する番号ひとつに○)	<table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 子どもの卒園、卒業まで</td></tr> <tr><td>(3) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(4) 未定</td></tr> </table>	(1) 今年度中	(2) 子どもの卒園、卒業まで	(3) 来年度以降	(4) 未定							
(1) 今年度中												
(2) 子どもの卒園、卒業まで												
(3) 来年度以降												
(4) 未定												
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 40%;">(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。</td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> </table>	(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。										
(3)及び(4)を回答した世帯は、どのような状況になれば避難元の県に戻りたいと考えるかご記入ください。												
2	このまま新潟県に定住する	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">新潟県に定住する理由についてご記入ください</td> <td style="width: 70%;"></td> </tr> </table>	新潟県に定住する理由についてご記入ください									
新潟県に定住する理由についてご記入ください												
3	避難元の県及び新潟県以外の都道府県に移り住みたい	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">移動する時期について (該当する番号ひとつに○)</td> <td style="width: 70%;"> <table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(3) 未定</td></tr> </table> </td> </tr> </table>	移動する時期について (該当する番号ひとつに○)	<table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(3) 未定</td></tr> </table>	(1) 今年度中	(2) 来年度以降	(3) 未定					
移動する時期について (該当する番号ひとつに○)	<table border="1"> <tr><td>(1) 今年度中</td></tr> <tr><td>(2) 来年度以降</td></tr> <tr><td>(3) 未定</td></tr> </table>	(1) 今年度中	(2) 来年度以降	(3) 未定								
(1) 今年度中												
(2) 来年度以降												
(3) 未定												
4	今後の生活拠点をどうするか未定である	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">未定の理由についてご記入ください</td> <td style="width: 70%;"></td> </tr> </table>	未定の理由についてご記入ください									
未定の理由についてご記入ください												

裏面もご記入ください

- 設問2 今後の避難生活に関して困っていること、不安なことや、ご意見・ご要望（特に、被災県及び新潟県内自治体に支援や相談等を求めるもの）がありましたら、下の欄に記入してください。

記入欄

※ 記入いただいた困っていることや、不安なことについて、新潟県（広域支援対策課）に個別に相談したい方は連絡先をご記入ください。

（個別の相談が不要の方は記入不要です。）

お名前	
電話番号	

※新潟県使用欄